



**「合唱コンクール」**  
毎年各中学校が文化会館で行っています。特に中学生が心をひとつにした歌声は圧巻です。(浦安中学校)  
リハーサルやコンクールに小学生を招き、中学校の取組に接する機会を設けている中学校区もあります。

豊かな心

市内の学校・園では、自分や他人のよさを認め、互いに尊重し合う子どもをはぐくむために、体験活動を大切に、子どもたちの人権感覚・人権意識を養っています。読書活動や合唱等の文化芸術活動も豊かな情操をはぐくむための取組として力を入れている活動です。

▼調査①

特に学校司書や地域のボランティアの方々と連携した読書活動は浦安市の特徴のひとつです。

また、身近な大人のかかわり方も子どもたちの豊かな心をはぐくむための大切な要素です。

▼調査②

**「子どもに身につけている能力や態度」**  
「読書に親しむ態度」の項目について「身につけている」と回答した小学校教員の割合は19項目中最も高く、中学校でも「運動する楽しさを知り、親しむ態度」に次ぐ結果となりました。  
【教員 小88.5% 中86.3%】  
(平成25年度 保護者および教員の教育に関する意識調査) ▶調査①

**「授業や学習指導において心がけていること」**  
「励まし勇気づけてほめる」の項目について「心がけている」と回答した教員の割合は小・中学校ともに19項目中最も高い結果となりました。【教員 小97.7% 中97.4%】  
(平成25年度 保護者および教員の教育に関する意識調査)  
学習指導においても、子どもたちの自己肯定感を高めるかかわりを大切にしていることがわかります。 ▶調査②



**「人と人とのつながり」**  
就学前から「周囲の人との愛着・信頼関係」を大切に、子どもたちとかわかることで、豊かな心をはぐくんでいます。

豊かなかかわり

「人とかかわる」喜びを感じ、社会性の基礎をはぐくむ環境を整えていくことは、人や社会に積極的にかかわる子どもへの育成につながります。

各学校では、学習活動に「学び合い」などの人とかかわり合う場面を積極的に取り入れ、人間関係を築く力や適切に表現する力をはぐくむことに力を入れています。

▼グラフ③

日の出中学校ではキャリア教育の一環として、生徒が様々な職種の方から話を聞く「働くエラスト」を2年前から実施しています。地域や保護者と連携して「豊かなかかわり」の中で子どもをはぐくむ取組は、市内の多くの学校・園で行われています。

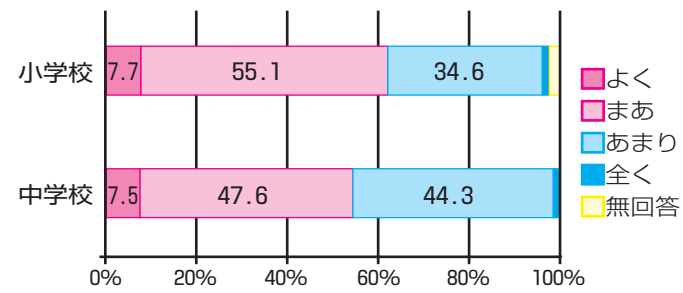


**「ワークショップ大会」**  
保護者・地域・学校が一体となって開催されました。テーマは「特別な時間 きみの未来を見つけよう」子どもたちがワクワクするような、様々なワークショップが行われました。(美浜南小)



**「異校種での交流」**  
小さな子とかかわり自己有用感をはぐくむことで「人とかかわりたい」という意欲にもつながります。園児にとっても小学校への期待やお兄さん・お姉さんへのあこがれをはぐくむ機会となります。(東野小・東野保育園)

【さまざまな人と積極的に交流しようとする力】



子どもたちの「様々な人と積極的に交流しようとする力」について、教員が課題であると感じていることがわかります。意識調査(教員) ▶グラフ⑥  
(平成25年度 保護者および教員の教育に関する意識調査)



**「郷土について考える」**  
ふるさと浦安作品展には浦安の過去・現在を調べた作品や未来について提案した作品など、小・中学校から参加者1498名、校内審査を経て143点の展覧がありました。

郷土愛

市内の学校・園では、ふるさと浦安について学ぶ活動や、郷土博物館を生かした学習の取り組みが増加しています。現在、3年生の「昔のくらし体験」、4年生の「海苔すき体験」で市内全小学校が郷土博物館を活用しています。昔の浦安を知るボランティアの方々と交流し、「私の子どもの頃は・・・。」と直接話を聞くことで「自分の暮らすまち」を見つめ直すきっかけになります。

その他にも、幼稚園や保育園の「昔遊び」や中学校の「浦安研究」「職場体験」など、発達段階に応じて郷土博物館を活用した学びが定着してきています。

健やかな体

浦安市では、健やかな体をはぐくむ上で、子どもたちの「体力向上」を課題と捉えています。特に、今日的課題である「日常的に運動をする子・しない子の二極化」の傾向は、本市にも当てはまります。市内11校ある体力向上推進校では、運動に親しむ環境づくりや体力を高める授業づくりに力を入れています。たとえば、投げる力を高める用具の工夫や、日常の運動量を増やすための「遊具ラリー」などの工夫を研修会等で学び合い、実践に生かすことで、子どもたちの体力向上に努めています。

また、健やかな体づくりには学校、家庭、地域が連携して取り組むことが大切です。市内の小・中学校では、学校保健委員会を開催



**「就学前から運動に親しむ」**  
運動する楽しさを知り、親しむ体験を、幼稚園や保育園でも行っています。(体操指導 明海幼稚園)

**【子どもに対する接し方、しつけの仕方】**  
保護者で「子どもには毎日朝食を食べさせる」を「とても心がけている」と回答した割合は21項目のうち最も高い結果となりました。脳や体を動かすエネルギーとして大切な朝食。健康への意識の高さが伺えます。【教員 小89.2% 中84.4%】  
(平成25年度 保護者および教員の教育に関する意識調査) ▶調査③

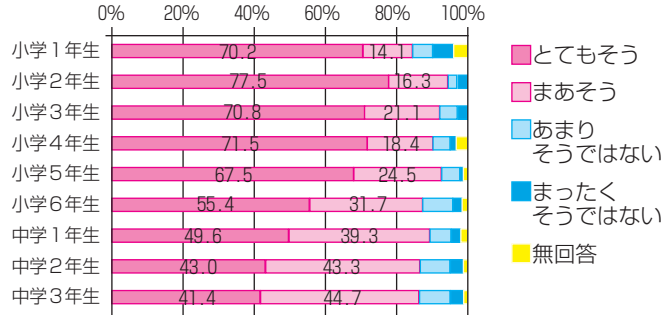


**「みんなで考える学校保健委員会」**  
助産師さんを招いての命の教育。健やかな心・体をはぐくむためには、互いの生命や体を大切にする心の育成も欠かせません。(入船南・入船北小の合同授業)



**「浦安らしさを取り入れた授業」**  
郷土学習と外国語活動を融合させた「ふるさと浦安英語カルタ」。学力向上交流会でもその取組が発表されました。(舞浜小)

【自分の住んでいる町や地域が好きだ】



「とてもそう」「まあそう」の割合の合計は、すべての学年で90%近くになりました。  
(平成24年度 小・中学生生活実態調査) ▶グラフ⑥